

神鋼環境ソリューションのお悩み改善例

No.11 洗浄剤(過酸化水素)の処理に困っている

お悩みごと

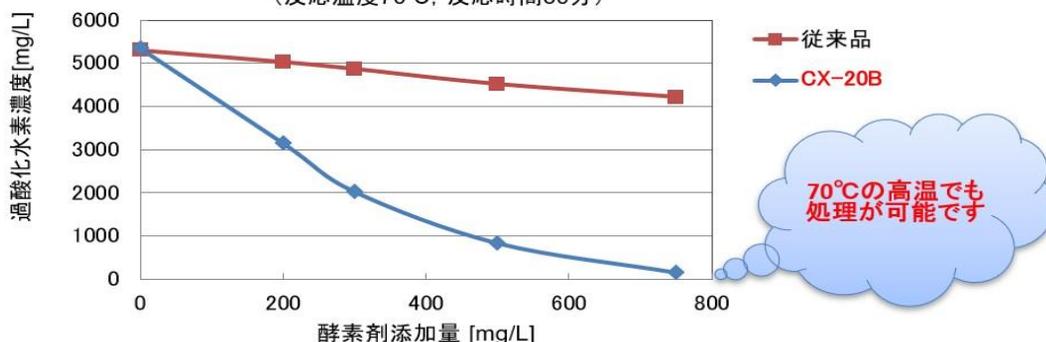
殺菌剤として過酸化水素を使用しているが生物排水処理に影響が出ている。
 分解剤として使用している酵素剤が高温状態で分解効果が低い。
 分解剤として使用している重亜硫酸ソーダの臭いが気になる。
 分解剤として使用しているチオ硫酸ソーダの溶解に手間がかかる。

改善例

当社の分解酵素剤に切り替えることで分解処理効率がアップ

従来型のカタラーゼ酵素の欠点であった耐熱、耐酸、耐アルカリ、耐金属性を打破しました。

例) 飲料工場の高温排水における **CX-20B** の評価
 (反応温度70°C, 反応時間60分)



実績例：SPスーパークリーンCX-20B/40Bの使用により高温でも処理が可能に

お客様からの声

- 70°Cの高温状態で従来型の酵素剤よりも効果があった。
- pH3~10の広範囲で処理が可能になった。
- 酵素剤の添加量が少なくなりコストダウンにつながった。
- 高濃度品(CX-40B)を使用することで充填回数が半分になった。
- 重亜硫酸ソーダの臭気、チオ硫酸ソーダ粉体の溶解の手間がなくなった。

キーワード

H2O2、過水洗浄、CIP洗浄、触媒反応、ペットボトル、PET、容器殺菌、容器洗浄
 清涼飲料、ミネラルウォーター、ウォーターサーバー、天然水、過酢酸、Catalase
 KOBELCO

株式会社神鋼環境ソリューション 環境エンジニアリング事業本部 水環境事業部 産業ソリューション営業部

お問い合わせの方は必要事項をご入力ください。弊社担当者より折り返しご連絡させていただきます。

☒お問い合わせはこちら

神戸 TEL (078)232-8021 / 東京 TEL(03)5931-3716

産業向け水処理WEBサイトはこちら